

# ふくい街角景気速報

(平成23年3月分)

調査期間 平成23年3月11日～25日 (回答率：98%)

## 概況

景気の現状判断DIは48.7となり、前月に比べ3.0ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは39.3となり、前月に比べ10.7ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 48.7 (前月比 +3.0)

企業部門を見ると、電気機械や眼鏡などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれた。

家計部門を見ると、スーパーでは売上高や客数、客単価が増加しているとの声が聞かれたものの、小売店やショッピングセンターなどの一部の企業からは、東北地方太平洋沖地震以降は来客数が減少したとの声が聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人数は増加しているが、その内訳をみると、パートやアルバイトが多いとの声が聞かれた。

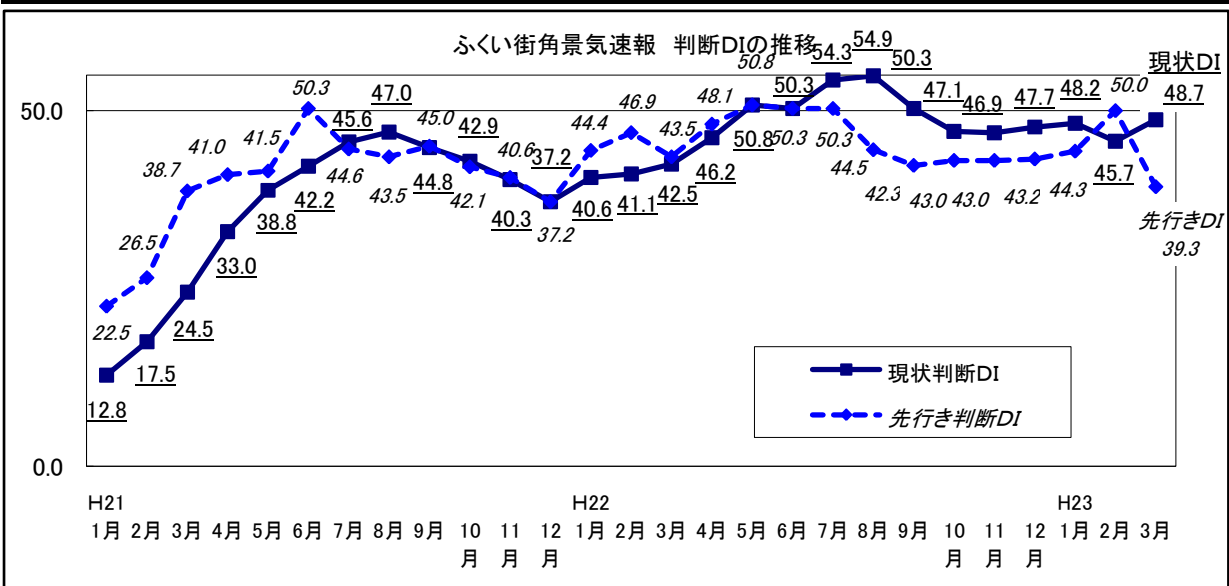
■景気の先行き判断DI 39.3 (前月比 ▲10.7)

家計部門を見ると、東北地方太平洋沖地震や原材料価格上昇の影響により、消費者の購買意欲が低下し、消費が落ち込むのではないかと心配する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、不安定な中東情勢や円高、原油原材料価格の上昇、さらに地震の影響などにより、業況の悪化を懸念する声が多く聞かれた。

雇用部門を見ると、地震の影響による雇用環境の悪化を心配する声が聞かれた。

これらの理由から、先月に比べて景気の先行きに対して「やや悪くなる」「悪くなる」との回答が大幅に増加し、約半数を占めた。



### <目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

#### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

#### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

### 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100  
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

## 調査結果

### 1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、48.7となり、2か月ぶりに上昇した。  
先月と比べ、雇用関連は減少したものの、家計動向関連、企業動向関連は上昇した。また、悪化しているとする回答が減少し、変わらないとする回答が増加した。

企業部門を見ると、電気機械や眼鏡などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれた。

家計部門を見ると、スーパーでは売上高や客数、客単価が増加しているとの声が聞かれたものの、小売店やショッピングセンターなどの一部の企業からは、東北地方太平洋沖地震以降は来客数が減少したとの声が聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人数は増加しているが、その内訳をみると、パートやアルバイトが多いとの声が聞かれた。

#### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H22 10	11	12	H23 1	2	3	(前月差)
合計		47.1	46.9	47.7	48.2	45.7	48.7	+3.0
家計動向関連		42.9	47.0	46.9	45.4	39.8	45.5	+5.7
小売		47.8	50.0	48.5	47.8	41.9	47.9	+6.0
飲食		18.8	31.3	37.5	31.3	31.3	25.0	▲6.3
サービス		36.4	43.2	45.5	43.2	36.4	45.5	+9.1
企業動向関連		51.5	45.7	46.4	49.3	48.6	51.4	+2.8
製造業		51.0	44.0	50.0	50.0	51.0	52.0	+1.0
非製造業		52.5	50.0	37.5	47.5	42.5	50.0	+7.5
雇用関連		51.9	50.0	53.8	55.8	59.6	53.8	▲5.8

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(2月調査結果)  
現状判断DI 48.4

#### ○回答別構成比

	年 月	H22 10	11	12	H23 1	2	3	(前月差)
良くなっている		2.1%	3.1%	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%	+1.0
やや良くなっている		16.7%	16.5%	17.7%	16.5%	22.4%	16.3%	▲6.1
変わらない		54.2%	50.5%	53.1%	58.8%	40.8%	62.2%	+21.4
やや悪くなっている		21.9%	24.7%	27.1%	21.6%	33.7%	17.3%	▲16.4
悪くなっている		5.2%	5.2%	1.0%	2.1%	3.1%	3.1%	+0.0

## 2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、39.3となり、4ヵ月ぶりに低下した。  
先月と比べ、全ての部門で低下した。また、回復するとの回答が減少し、悪化するとの回答が約4割を占めた。

家計部門を見ると、東北地方太平洋沖地震や原材料価格上昇の影響により、消費者の購買意欲が低下し、消費が落ち込むのではないかと心配する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、不安定な中東情勢や円高、原油原材料価格の上昇、さらに地震の影響などにより、業況の悪化を懸念する声が多く聞かれた。

雇用部門を見ると、地震の影響による雇用環境の悪化を心配する声が多かった。

これらの理由から、先月に比べて景気の先行きに対して「やや悪くなる」「悪くなる」との回答が大幅に増加し、約半数を占めた

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H22 10	11	12	H23 1	2	3	(前月差)
合計		43.0	43.0	43.2	44.3	50.0	39.3	▲10.7
家計動向関連		43.9	44.0	43.8	41.8	49.0	36.5	▲12.5
小売		47.8	45.7	43.2	44.9	49.3	40.0	▲9.3
飲食		37.5	31.3	37.5	18.8	56.3	18.8	▲37.5
サービス		34.1	43.2	47.7	40.9	45.5	31.8	▲13.7
企業動向関連		41.4	40.0	42.1	44.3	47.9	42.9	▲5.0
製造業		44.0	42.0	46.0	47.0	51.9	48.0	▲3.9
非製造業		35.0	35.0	32.5	37.5	37.5	30.0	▲7.5
雇用関連		44.2	47.9	44.2	53.8	59.6	40.4	▲19.2

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(2月調査結果)  
先行き判断DI 47.2

### ○回答別構成比

	年 月	H22 10	11	12	H23 1	2	3	(前月差)
良くなる		1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		14.4%	11.3%	10.4%	13.4%	23.5%	15.3%	▲8.2
変わらない		43.3%	55.7%	55.2%	54.6%	56.1%	35.7%	▲20.4
やや悪くなる		38.1%	26.8%	31.3%	27.8%	17.3%	39.8%	+22.5
悪くなる		3.1%	6.2%	3.1%	4.1%	3.1%	9.2%	+6.1

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	雇用	福井	人材派遣会社	・求人数の動きが良くなっている。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額とも若干上向き。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・3月に絵画催事を開催し、前年同月を確保した。 ・高額商材の動きは安定している。
		丹南	スーパー	・来店客数は増加傾向にあり、単価アップも見られる。 ・消費者は特売動向に敏感であり、イベント時は客数の伸びが顕著である。
		福井	スーパー	・2月は客数・客単価ともに前年を上回り、順調に推移した。
		坂井	スーパー	・客数、売上とも前年を越えてきた。
		丹南	スーパー	・客単価、客数が上向いてきた。
		嶺南	コンビニエンスストア	・客数が増えてきた。
		福井	ビジネスホテル	・今年は雪が多いためスキー客が依然として多い。 ・ビジネスマンを中心に長期宿泊者が増加している。
		坂井	旅行代理店	・販売量は、若干上向きに転じているが、価格競争は、依然として厳しい状況にある。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・受注量が多いが、安価で検品が厳しく、売上増加にはつながらない。 ・しかしながら、先行きの見通しはやや良い。
		奥越	電気機械	・受注量は増加している。
		丹南	電気機械	・受注動向が上向いている。
		嶺南	化学・プラスチック	・3月から漁業資材等による繁忙期となり、受注量が増加してきている。
		丹南	鉄鋼	・国内外からの受注が増えている。
		福井	金融機関	・建設業は公共工事の減少等から業況は変わらないと考えている。 ・電子部品関係は受注量の増加が見込まれており、やや良くなっている。
	雇用	嶺南	労働相談員	・1月の敦賀の有効求人倍率および新規求人倍率は、前年同月を上回った。 ・小浜も前年同月比を上回る状況にある。
	③変わらない	家計 動向	福井	小売店
丹南			小売店	・イベント等は従来どおりの動きがあるが、それ以外の時はあまり動きがない。
奥越			小売店	・3月上旬までは客数に変化がなかったが、地震以降少し客数が減少した。
奥越			小売店	・販売状況の波が大きく、月の前半が良いかと思えば後半はさっぱり、客単価が上がれば客数が減るなど、動きがわからない。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・売上高は前年同期と比べても順調に推移。 ・フォーマルスーツやスプリングコートなどの高単価商品が動き、2月後半からの気温も上がったことから、シャツの動きもあり買い回りにつながった。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・ホワイトデーは震災の影響もなく前年確保で順調に推移した。 ・しかしホワイトデー以降は、震災報道等マスメディアによるイベント等自粛の雰囲気により、物産展の客数は大幅減少。 ・今後も震災の影響は不安定要因。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・大きな変化はない。
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・客数や客単価、売上高等に変化が見られない。
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・客単価、客の様子などに変化がないが、地震以降客数が減ってきたように感じる。
嶺南			百貨店、ショッピングセンター	・陳列量もアイテムも手薄に感じている。 ・食品部門のゴールデンタイム以降は販売量が伸びず、最近の天候不順も関係していると考えられる。
嶺南			スーパー	・客単価がほぼ横ばいで推移している。
福井			大型小売店	・大学入学や転勤等、シングル需要時期であり、客数は変わらず。

③変わらない	家計 動向	嶺南	大型小売店	・客数はほぼ前年並みで推移しているものの、若干低下傾向が見られる。	
		坂井	居酒屋	・変動がほとんどない。	
		福井	駐車場	・利用者台数では3ヶ月前に比べると横這い、前年同期と比較すると減少している。 ・今後も横這い又は減少傾向は変わらないと考えている。	
		嶺南	旅館	・客数や販売高は、前年と比較してほぼ横ばい。 ・最悪期は脱しているように思うが、まだまだ明るさは見られない。	
		福井	旅行代理店	・国内旅行は伸び悩んでいるが、海外旅行は好調である。	
	企業 動向	坂井	繊維	・受注量や取引先の様子に変化がない。	
		奥越	繊維	・受注は堅調に推移しているものの、原料・燃料高の影響が懸念される。	
		丹南	眼鏡	・受注はまだ少ない状況だが、産地全体の注文は多い状況と思う。 ・しかしながら、安価な注文や中国部品の組立・仕上げの注文などが多く、リスクが多い状況と思う。	
		丹南	眼鏡	・政治の混迷、中東混乱による石油価格の上昇、日本の競争力低下など懸念材料が多い。	
		坂井	一般機械	・今後、重油関連の価格高騰により市場の不安要素が増え、設備投資が減速する事が懸念される。	
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。	
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子に変化がない。	
		福井	化学・プラスチック	・産業資材関連は少し動き出している分野がある。 ・主力である住宅建材は少し良くなった感はあるものの、まだまだ低迷が続いている。	
		丹南	伝統工芸	・販売量の動きに変化がない。	
		奥越	食料品製造	・販売量に変化がない。	
		丹南	食料品製造	・売上高は前年比よりややダウンしているが、大きく動いてはいない。 ・仕入れ価格が上昇傾向にあるため、将来への不安が大きくなり、今後の動向が気になる。	
		嶺南	医薬品	・依然として健康食品、一般用医薬品の販売状況は好転せず、変化は見られない。	
		福井	IT関連	・受注量に変化がない。	
		坂井	IT関連	・受注額は微減となっている。	
		福井	金融機関	・大手企業では業績改善が伺えるものの、中小企業は依然低迷している。	
		坂井	建設業	・新築物件が少ない。	
		嶺南	建設業	・年度末で公共事業の新たな発注が出ない時期となり例年と変わらず。 ・大きな災害で株価の低下が著しく、民間はさらに控えめになる気配である。	
		福井	不動産	・2月の受注高は計画並であり、前年同月と同じ程度となっている。	
		福井	運輸	・売上高が一時期、前年同月比9%増となっていたが、最近では増加率が4%程度と少し低下してきた。 ・実額ではようやくリーマンショック前の状況に近付いた。	
		雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・スキー場の解雇等により、求人倍率が0.3ポイント下がり、今後の懸念される。
			丹南	自治体労働政策担当課	・求人数に動きはあるが、ほとんどパートである。 ・周辺企業から聞くと、まだまだ中小企業は厳しい状況にある。
			福井	労働相談員	・求人数の数字はやや良くなっているが、内容的にはパートやアルバイトが多く、横ばいの状態と思われる。
			奥越	学校就職担当者	・管内の一般求人状況は、少し良くなっている。 ・ただ、肌を感じる景気については、不透明というのが正直な感想である。
	福井		学校就職担当者	・景気というもの、劇的に変わるものではない。	
	福井		学校就職担当者	・特に専門知識や技術・資格を持っている人材を採用したいという企業の動きは変わらない。	
嶺南	学校就職担当者	・雇用状況等に変化が見られない。			

③変わらない	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	・福井県は、有効求人倍率が1倍を超え、仕事量の回復感が見受けられるものの、正社員求人は少なく、先行きの見通しは決して改善していない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・製造業を中心に多少は上向きと思われるが、正社員が増えているわけではなく、明るい兆しは感じられない。
		嶺南	就職情報誌	・周辺企業の様子に変化が見られない。
④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	・商店街組合員に2月末アンケートを実施した結果、やや悪くなっているとの回答が大勢を占めた。
		福井	小売店	・震災を境に、販売量の動きがやや悪くなってきている。
		坂井	小売店	・来客数、売上額が減少している。
		丹南	小売店	・東北地方太平洋沖地震以降、目に見えて来客数が減っている。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・天候不順の影響もあり、客数の減少が見られる。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・消費者の購買意欲が低い。
		嶺南	観光物産店	・景気回復しているような雰囲気でも、消費・販売の面には結びついていない。
		嶺南	ドライブイン	・客数は低下傾向にあり、販売量も伸び悩んでいる。
		嶺南	レストラン	・震災から客数、販売量が低下傾向に拍車がかかった。
		福井	居酒屋	・震災の影響と考えられるが、客数が減少している。
		福井	自動車整備	・単価が低くなり、客数も少なくなった。
	丹南	クリーニング店	・2月から3月にかけて寒い日が多く、客数も品物も少なかった。	
	企業 動向	福井	繊維	・2月～3月の受注の動きが悪くなってきている。
		坂井	繊維	・例年このシーズンは縫製業の仕事が少なくなる。
丹南		伝統工芸	・受注量や販売量が低下傾向にある。	
嶺南		運輸	・燃料価格の高騰などで業績に影響が出てきている。	
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	・世間の話の中で厳しい状況が感じられる。
		福井	割烹	・来客数が激減した。
		坂井	旅館	・全体的に集客が落ちている。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
② やや良くなる	家計 動向	坂井	小売店	・観光シーズンになり、県外客の増加が見込める。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・新生活シーズンによる消費拡大が見込まれる。
		丹南	スーパー	・客単価、客数が向上している。
		嶺南	コンビニエンスストア	・季節が変わり、人の動きが活発化されるため。
		嶺南	ドライブイン	・観光客の増加が見込める。
		嶺南	旅館	・これ以上悪くならないと考えている。
		福井	ビジネスホテル	・外国人観光客は少ないが、国内の観光客は増加している。 ・スポーツ関係の団体予約もあり、堅調。
	企業 動向	福井	繊維	・受注の予定が多く入ってきている。 ・受注は増加しても、石油やガスなどのエネルギーコストが上昇しているため、利益は上がらない。
		丹南	眼鏡	・中国からの金無垢など高級品の注文や、一流ブランドからの差別化された注文が増えていく気配が感じられる。
		丹南	眼鏡	・市場では安い商品が多く出回っており、やや飽きがきていていると感じている。 ・若干ではあるが、付加価値の高い商品が認められてきていると感じている。
		丹南	眼鏡	・例年2～4月の動向が、上半期の状況を決するため、良くないと困る。
		丹南	電気機械	・当社の受注動向が上昇傾向にある。 ・但し、震災の影響次第では、悪化になるかもしれない。
	雇用	福井	学校就職担当者	・景気は言わば雰囲気であるため、前向きに考えた方が良い。
		福井	就職情報誌	・これまで改善傾向が続いてきたため、急激に悪化することはないと思うが、震災の影響がどう出るかが不透明。
	③ 変わらない	家計 動向	福井	小売店
丹南			小売店	・春先に向けて良くなってくれることを願う。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・震災により、ファッションのトレンドダウンの可能性がある。 ・目的買いで、タンス在庫にない自分の気に入った物を吟味して買う傾向に拍車がかかると思われる。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・これまで順調に売上を伸ばしていた矢先、震災でトレンドが大きく後退した。 ・今後は原発の動向に大きく左右される状況にあると考えられる。
奥越			百貨店、ショッピングセンター	・売上高や客数はゆるやかに減少が続いている。 ・円高、石油高騰、政治不安定など負の要素ばかりで、良くなるとは考えられない。
丹南			スーパー	・食品価格が上昇してきており、いつ商品価格に跳ね返るかが問題である。 ・集客を維持するには、従来の価格を継続することが必要になる。
福井			スーパー	・震災の影響がどうなるかが不透明。
坂井			スーパー	・中東情勢が不安定で、原油の価格如何では足ぶみする可能性もある。
福井			大型小売店	・テレビのアナログ停波に向けて、駆け込み需要が予想される。
企業 動向			坂井	繊維
		奥越	繊維	・政治の混乱および原料・燃料高が経営に影響するとともに、先行き不安が消費にも悪影響があるのではと心配している。
		坂井	一般機械	・一部では良くなる傾向にあると聞けるが、国内政治や中東の状況、地震による影響など、先行きの不安要素が尽きないため、安定には程遠い状況にある。
		福井	一般機械	・現在の受注状況に変化なし。
		奥越	電気機械	・ユーザーの在庫調整は進んでいるようだが、受注動向は不明確である。
嶺南		化学・プラスチック	・政府の経済政策の遅れ、為替の問題が懸念される。	
福井	化学・プラスチック	・住宅市場が回復するには、3～5年以上先と見ている。		



③変わらない	企業 動向	丹南	伝統工芸	・取引先の様子に変化が見受けられない。	
		奥越	食料品製造	・12月以降、改善が見られない。	
		嶺南	医薬品	・消費動向の改善は当面見込めない。	
		福井	IT関連	・受注量の動きに変化がない。	
		福井	金融機関	・春先以降、政府動向に大きな好転材料がなく、変わらないもしくは低下すると思われる。 ・震災の影響も未知数。	
		坂井	建設業	・改善する雰囲気がない。	
		福井	運輸	・原油高収益を圧迫する要因は多いものの、今後2～3ヶ月の間に、売上を減少させる要因となるようなものは見当たらない。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・企業は最悪期を脱したと聞けが、政治不安、石油の値上がり、地震の影響等、懸念材料が多い。	
		嶺南	労働相談員	・東北地方太平洋沖地震の影響による円高や各企業の操業停止が、どう影響してくるかが心配される。	
		嶺南	学校就職担当者	・雇用状況に変化が見られない。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・雇用面では正社員求人が伸びず、従業員の給与収入は今後も大きく増加しないので、景気が良くなるとはいえない。	
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・変わらないというより、分からないといった状況にあると思われる。	
		嶺南	就職情報誌	・東北地方太平洋沖地震、福島原発の動向如何によって景気も左右されると思うが、どちらに振れるかわからない。	
	④やや悪くなる	家計 動向	福井	商店街	・原材料費の値上がりなどにより、客単価が減額すると予想している。
			嶺南	商店街	・原材料高による商品価格の上昇により、一層収入減、買い控えになると考える。
			福井	小売店	・新しい店舗を新築、改築する人が少ない。
丹南			小売店	・食品価格や材料の値上げが続くと想定される。	
奥越			小売店	・少し良くなると思えたが、東北地方太平洋沖地震でなんとなく雰囲気がダウンすると考える。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・東北地方太平洋沖地震の影響により、今後、高額商品の動き鈍くなる可能性が高い。	
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・中東情勢の動向による原油価格の変動や、東北地方太平洋沖地震による影響が出てくると思われる。	
奥越			百貨店、ショッピングセンター	・震災により、市場に引き締めムードが見られる。 ・今後の物流・価格の動きが不透明である。	
嶺南			百貨店、ショッピングセンター	・恒常的に客数が減少し、それに加えて客単価が低下している。	
嶺南			スーパー	・東北地方太平洋沖地震により、被災地向けの支援物資が最優先され、トイレットペーパー、ティッシュ、水等特売がしにくくなる。	
嶺南			大型小売店	・3月でエコポイント付与が終了するため、落ち込みが予想される。 ・近隣に競合店が出店したため、今後より厳しい状況下になる。	
嶺南			コンビニエンスストア	・舞鶴若狭自動車道の無料化が3月末で終了するため、昨年より県外客が大幅に減少する見込み。	
嶺南			レストラン	・大河ドラマの効果を少し期待していたが、現時点では効果は出ていない様に見える。	
福井			居酒屋	・景気が悪く、本当に来客が少なくなった。 ・コーヒー豆の価格も上昇し、影響が出ている。	
坂井			居酒屋	・地震の影響が懸念される。	
福井			自動車整備	・石油価格が上昇している。	
丹南			クリーニング店	・東北地方太平洋沖地震により、消費者心理が悪化すると考える。	
福井			駐車場	・全般的に景気の上向き材料が乏しく、また、東北地方太平洋沖地震の影響も少なからずあると考える。	
福井			旅行代理店	・原油高による燃油サーチャージの値上がりにより、好調な海外旅行客も落ち込む可能性がある。	
		企業 動向	坂井	繊維	・5月下旬から6月下旬にかけ、縫製業のはざかい期である。

④やや悪くなる	企業 動向	福井	化学・プラスチック	・景気支援制度の終了や円高、地震による影響による受注減が懸念される。
		丹南	伝統工芸	・販売店の売上状況、当社の受注状況がやや悪化している。
		丹南	食料品製造	・中東情勢、世界的に食料品等の高値傾向が懸念され、近い将来の不安が増大している。
		坂井	IT関連	・受注見込額が減少している。
		福井	金融機関	・東北地方太平洋沖地震により業況悪化が考えられる。
		嶺南	建設業	・東北地方太平洋沖地震が発生し、国の予算が復旧事業に大きく割かれると推定されるため、他地域の公共事業の動向は不透明である。 ・一方、地震の影響による地盤の変化により、測量業などの公共座標登記に関わる業務は、業務量が増加するかもしれない。
		嶺南	運輸	・東北地方太平洋沖地震の影響が懸念される。
	雇用	奥越	学校就職担当者	・今回の大地震の影響で、かなり影響が出るのではないかと懸念される。 ・今現在では、内定の取消等はないが、今後出てくるのではないかと懸念される。
		福井	学校就職担当者	・大震災および原発事故の影響は少なからずある。 ・ただし、世界各地からの支援や日本自らの復興力により回復は早いと思われる。
		福井	人材派遣会社	・中東の民主化闘争による原油価格の上昇が続いており、今後、油を原材料にした製品の値上げが心配される。 ・このことに伴い、消費者ニーズが後退し、景気動向が悪くなる恐れがあるのではないかと懸念される。
⑤悪くなる	家計 動向	嶺南	商店街	・地震による悪影響が懸念される。 ・選挙も商売にはマイナス要因となる。
		嶺南	観光物産店	・今回の地震の影響は計り知れない。 ・観光産業は大打撃を受ける。
		福井	割烹	・東日本大震災で日本全体が大変な状況にある。
		坂井	旅館	・政治不信が原因で、経済発展の兆しが無い。
		坂井	旅行代理店	・東北地方太平洋沖地震の影響が大きく、先の予想は全く想定できない。
	企業 動向	福井	不動産	・国会が機能不全に陥っている。
		福井	運輸	・原油価格高騰が経営を圧迫する。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・東北地方の地震の影響が今後どうなるのか、動向を注視する必要がある。
		福井	労働相談員	・東北地方太平洋沖地震の影響による景気の低迷が懸念される。

#### 4. 参 考

##### (1) 調査対象の構成

調査対象		人数
<b>家計動向関連</b>		51
<b>商店街、小売店</b>		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>		
	店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>		
	店長・従業員	6
<b>家電販売店</b>		
	経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>		
	店長	2
<b>ドライブイン等</b>		
	経営者・スタッフ	3
<b>飲食関連</b>		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>		
	サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>		36
<b>製造業経営者・従業員</b>		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
<b>雇用関連</b>		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

## 4. 参 考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。  
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)